

「ロクラク」とPCを接続する

ロクラク・コントローラは、「ロクラク」本体とPCをUSBケーブルで接続し、PCから「ロクラク」本体をリモート操作(「ロクラク・スーパー」のみ可能です)及び、「ロクラク」とPC間で記録映像ファイルを転送するソフトウェアです。以下に「ロクラク」本体とロクラク・コントローラの通信接続手順を記載します。

- (1) 「ロクラク」とPCの電源を入れます。
「ロクラク」が起動するまで、5～6秒程お待ち下さい。(「ロクラク」ロゴの表示中は操作しないでください。)
- (2) PCと「ロクラク」をUSBケーブルで接続します。^{†・1}
- (3) [スタート]->[プログラム]->[Rokuraku]->[録楽コントローラ]を起動します。
(ロゴ表示後、下記のメイン画面を表示します。)

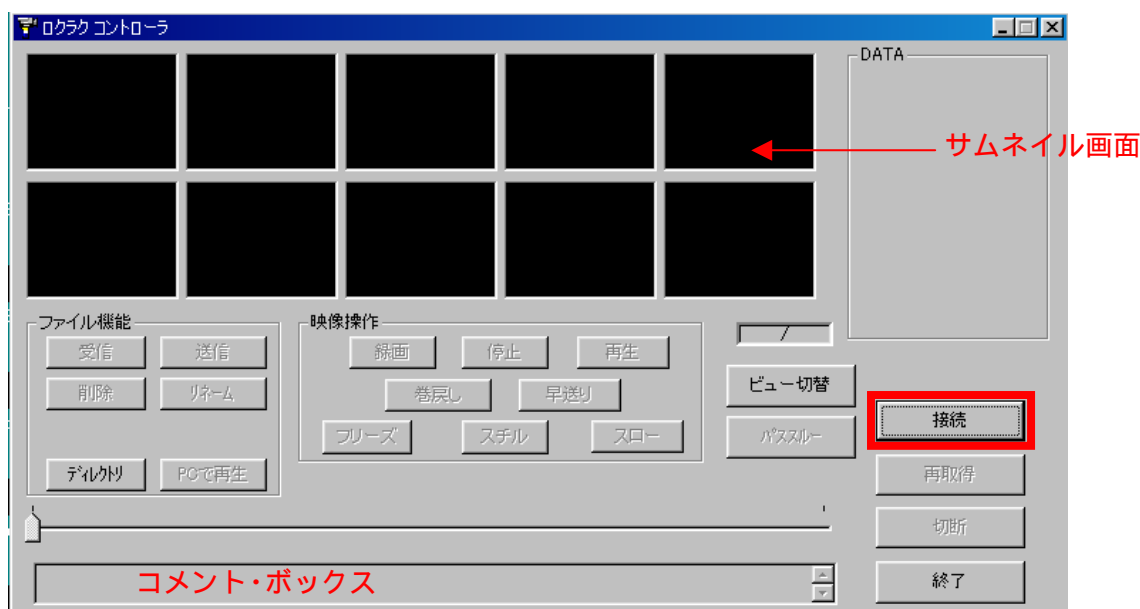


図10：ロクラク・コントローラのメイン画面

- (4) 【接続】ボタンをクリックします。
ロクラク・コントローラと「ロクラク」本体とをUSB通信可能状態にします。
(接続が成功すればコメント・ボックスに「ロクラクと接続しました。」のメッセージを表示した上、「ロクラク」に記録されているファイルが読み込まれて、その映像をサムネイル画面に表示します。)^{†・2}

この時、コメント・ボックスに「ロクラクとの接続に失敗しました」と表示した場合には、一旦「ロクラク」の電源を切って、再度(1)の手順からやり直して下さい



図 1 1 : メイン画面 接続完了

以上で「ロクラク」とPC間のUSB接続は完了しました。

- 十 . 1 初回のみハードウェアウィザードが起動します。
- 十 . 2 録画済み記録映像ファイルが何も無い場合、サムネイル画面には何も表示
しませんが、エラーではありません。

[サムネイルタイプ]と[リストタイプ]

ロクラク・コントローラのメイン画面のタイプには[サムネイルタイプ]と[リストタイプ]の2種類の画面タイプがあります。ここではこの2つのタイプの画面について説明します。

サムネイルタイプ

記録映像ファイルのサムネイル画像を表示する事ができる画面タイプです。サムネイル画像上にマウスを持っていく事で、右のデータフィールドに、ファイル名・ビットレート・時間などのファイル情報が表示されます。

また、サムネイルが見にくい場合でも、サムネイル画像をダブルクリックすることで拡大した画像を見ることができます。拡大画像から元のメイン画面に戻るには、拡大画像をクリックします。

10個以上のファイルは、垂直スクロールバーの をクリックする事で5個づつ、帯部分をクリックした場合10個づつ表示されます。

ファイルの選択は、サムネイル画像をクリックする事で、選択状態を表す枠が表示されます。

【ビュー切替】ボタンをクリックする毎に、[サムネイルタイプ]と[リストタイプ]が切り替わります。

垂直スクロールバー データフィールド



図 1 2 : サムネイルタイプのメイン画面

リストタイプ

[リストタイプ]では映像を表示しませんが、[サムネイルタイプ]では確認することができないファイル情報も確認することができます。また、ロック保護・ファイル名・サイズ・ビットレート等の項目名をクリックする事で、その項目名で整列をすることができます。

ファイル選択の方法は、リストの目的行をクリックする事で、選択したことになります。ファイル選択した状態で【ビュー切替】ボタンをクリックすると、選択したファイルがサムネイルに反映されて表示されます。

ファイル情報

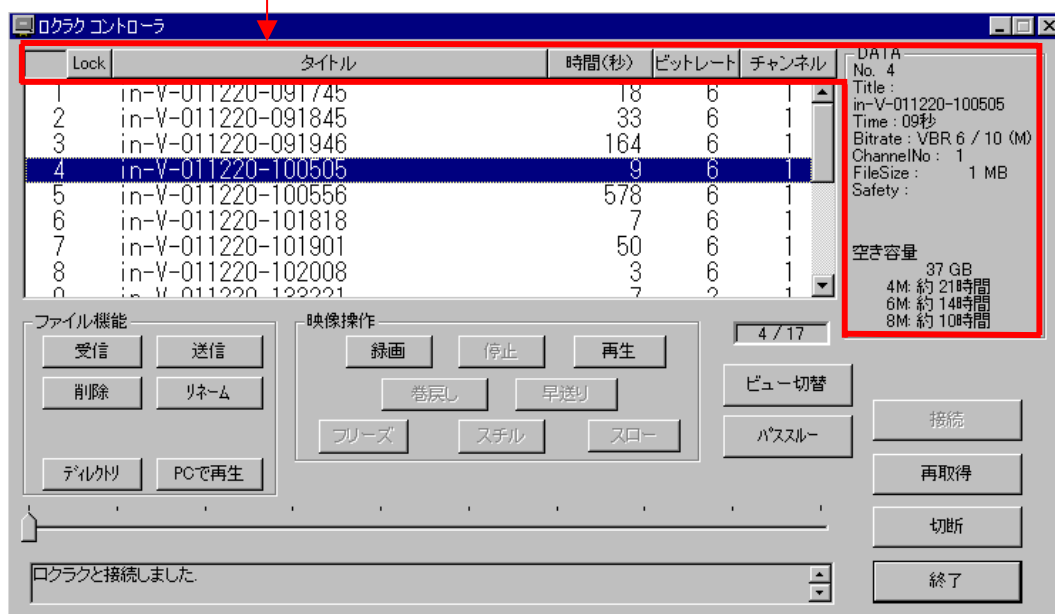


図 1 3 : リストタイプのメイン画面

「ロクラク」のファイルを再生する

「ロクラク」に記録されている映像ファイルを再生します。†.1

- (1) [サムネイルタイプ]または、[リストタイプ]から、目的の画像をクリックします。
- (2) 選択されたファイルは、[サムネイルタイプ]では枠がつき、[リストタイプ]では反転表示になります。

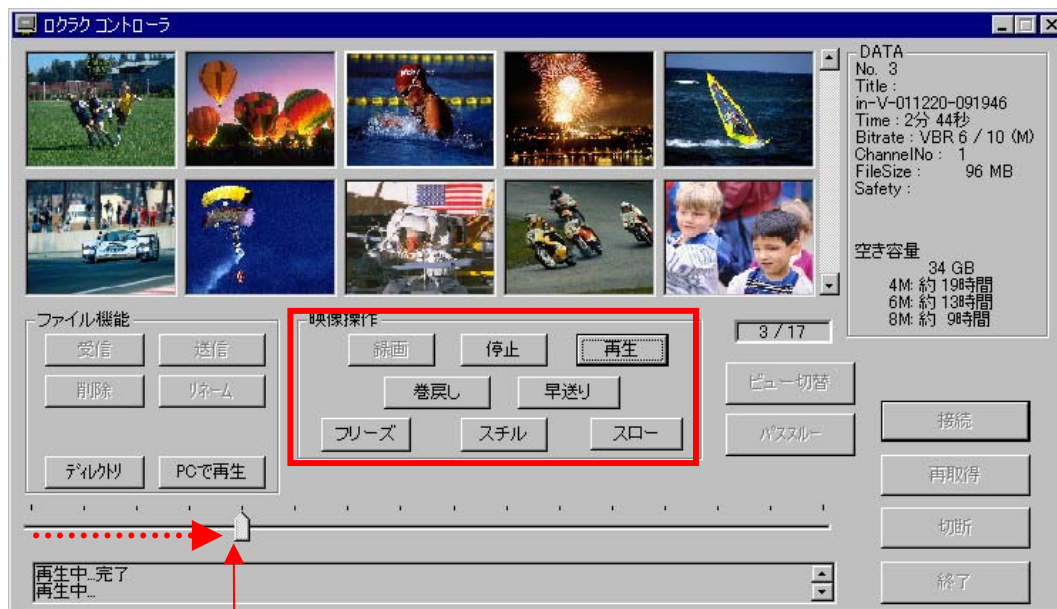


図 1 4 : サムネイルタイプのファイル選択



図 1 5 : リストタイプのファイル選択

- (3) 【再生】ボタンをクリックすると、選択したファイルの再生を始めます。再生中は、【停止】・【早送り】・【巻戻し】・【スロー】・【スチル】・【フリーズ】ボタンを使い、いろいろな速度による再生を楽しむことができます。また、【再生】ボタンをクリックする前に、スライダーをお好きな位置へ移動しておけば、任意の場面から再生を始めます。



スライダー 図 1 6 : 再生実行中画面

- (4) 再生した記録映像ファイルは、ファイルの終わりまで再生し自動停止します。また、その時スライダーはファイルの始まりに戻ります。(再生が終了した場合コメント・ボックスに”完了”とメッセージを表示します。)



図 1 7 : 再生完了画面

- † . 1 「ロクラク」のビデオ出力端子とテレビ・モニターの接続をした上で操作して下さい。

「ロクラク」の再生を停止する

記録映像ファイルの再生を停止させます。

(1) 【停止】ボタンをクリックすると、映像再生が停止します。



図 18：再生中操作ボタン

(2) スライダーが左端に移動し、コメント・ボックスに”完了”とメッセージを表示します。^{†・1}



図 19：再生完了画面

†・1 次回【再生】ボタンを押した時は、ファイルの初めから再生します。

「ロクラク」に録画する

「ロクラク」の外部入力(Sビデオ/ビデオ端子)からの映像を「ロクラク」に録画します。

- (1)メイン画面より、【録画】ボタンをクリックします。
録画設定ダイアログが表示されます。

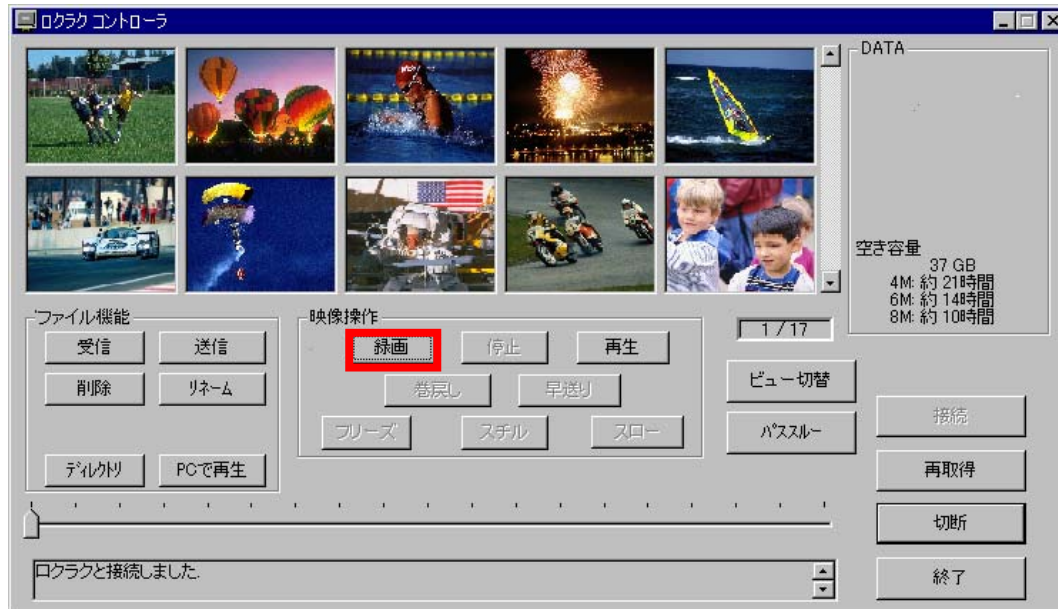


図 20 : メイン画面

- (2) [録画ファイル名]を入力します。
[録画ファイル名]の最大数は31文字です。
(a~z、A~Z、スペース、“+”、“-”、“*”、“_”、“.”、“\$”、“/”、)
[録画ファイル名]は必ず入力して下さい。†・1
- (3)録画したい時間が決まっている場合には、[録画時間]の設定をします。
録画時間を設定しなかったときは【停止】ボタンを押すまで録画をします。
- (4)[ビットレート]の設定をします。
初期値はC B R 4Mbps です。その他のビットレートで録画したい時はコンボ・ボックスをクリックしておこのみのビットレートを選択して下さい。
- (5)[録画解像度]の設定をします。
初期値は”標準”です。その他の解像度で録画したい時は、コンボ・ボックスをクリックしておこのみの解像度を選択して下さい。

標準 : 720 × 480 画素
1 / 2 : 352 × 240 画素
1 / 4 : 176 × 112 画素

- (6) [入力ポート]を選びます。
録画する映像入力を「S端子」あるいは「ビデオ」入力端子から選んで下さい。†・2
- (7) 【OK】ボタンをクリックすると、録画を開始します。†・3
コメント・ボックスに“録画中...”のメッセージを表示します。

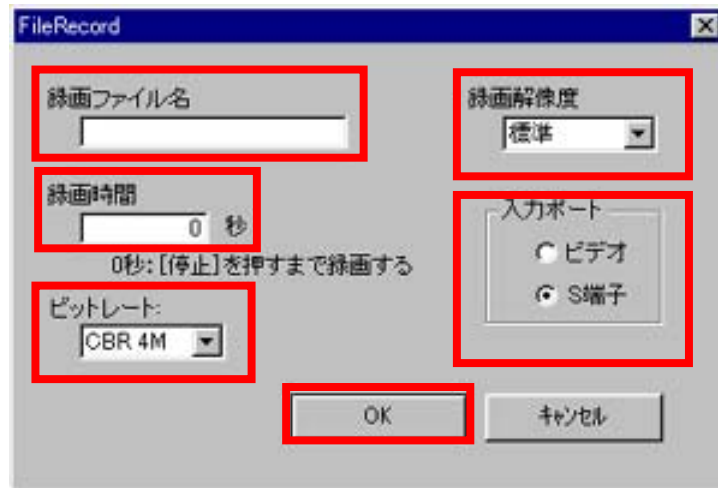


図 2 1 : 録画設定ダイアログ

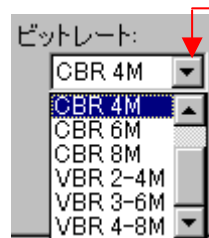


図 2 2 : ビットレート

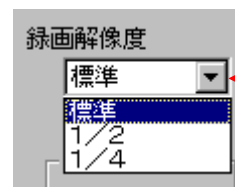


図 2 3 : 解像度

コンボ・ボックス



図 2 4 : 録画中画面

- 十.1 録画設定ダイアログの入力をしない状態で【OK】ボタンを押した場合には、「録画設定ダイアログ」は消えますが、録画は始まりません。
- 十.2 映像信号の自動検出は行いません。入力を間違えないようご注意ください。
- 十.3 指定時間を0に設定した場合、【停止】ボタンを押すまで録画を続けます。
(録画停止をお忘れのないようご注意ください。)

「ロクラク」の録画を停止する

録画を任意の時間で停止します。

- (1)メイン画面より、【停止】ボタンをクリックすると、録画を停止します。

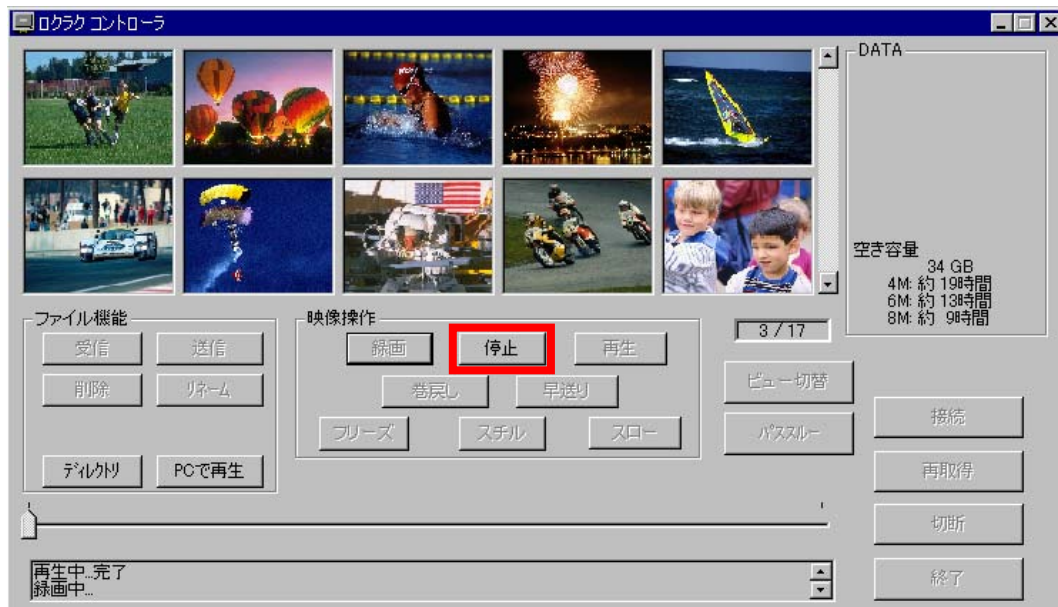


図 2 5 : メイン画面

- (2)スライダーが左端に移動し、コメント・ボックスに”完了” のメッセージを表示します。



図 2 6 : 録画完了画面

トリック再生をする

「ロクラク」再生状態において、【早送り】【巻戻し】【スロー】【スチル】【フリーズ】ボタンを押すことにより、再生速度を変化させるトリック再生を楽しむことができます。^{†・1}

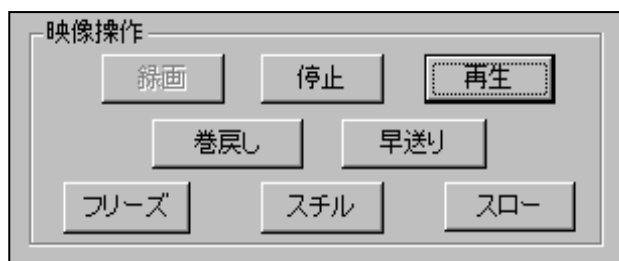


図 27：トリック再生ボタン

・早送り

再生中の映像を早送りで再生する操作ができます。

- (1) 【早送り】ボタンをクリックするたび、早送り速度が増加し、それと同時にスライダーの移動速度が速くなります。^{†・1}
- (2) 早送り再生状態を解除して、通常スピードで再生させるには【再生】ボタンをクリックします。

・巻戻し

再生中の映像を巻戻し再生する操作ができます。

- (1) 【巻戻し】ボタンをクリックすると巻戻し再生を始めます。^{†・2}
- (2) 巻戻し再生状態を解除して、再生させるには【再生】ボタンをクリックします。

・スロー

再生中の映像をスロー再生する操作ができます。

- (1) 【スロー】ボタンをクリックする毎に、再生速度を遅くします。^{†・3}
- (2) スロー再生状態を解除して、通常スピードで再生させるには【再生】ボタンをクリックします。

・スチル

同じ場面を繰返し表示します。

再生ボタンをクリックすると、スチルしていた時間分経過した後の映像から表示を開始します。^{†・4}

- (1) 【スチル】ボタンをクリックすると、再生中の映像がスチル状態になります。
- (2) スチル状態を解除して、再生させるには【再生】ボタンをクリックします。

フリーズ

再生中の映像を一時停止します。

(1)【フリーズ】ボタンをクリックすると、映像が一時停止状態になります。

(2)一時停止の状態を解除して、再生させるには【再生】ボタンをクリックします。

- †.1 最大 2.56 倍速再生が可能です。
- †.2 常に固定速度(1.0倍速)で巻戻しを行います。
- †.3 最大 1/31 倍速スロー再生が可能です。
- †.4 表示映像は同じ場面が繰り返し表示されていますが、画面の経過時間は更新し続けます。

「ロクラク」の入力映像をパススルーする

パススルーの設定をすることにより、「ロクラク」の外部入力(Sビデオ/ビデオ)端子からの映像を、「ロクラク」内部でMPEG2エンコード/デコードした上で、「ロクラク」のビデオ出力端子に接続したテレビに表示します。^{†・1}
録画する前に映像を確認したい場合などにご利用下さい。

- (1) 【パススルー】 ボタンをクリックします。
FileRecord ダイアログを表示します。

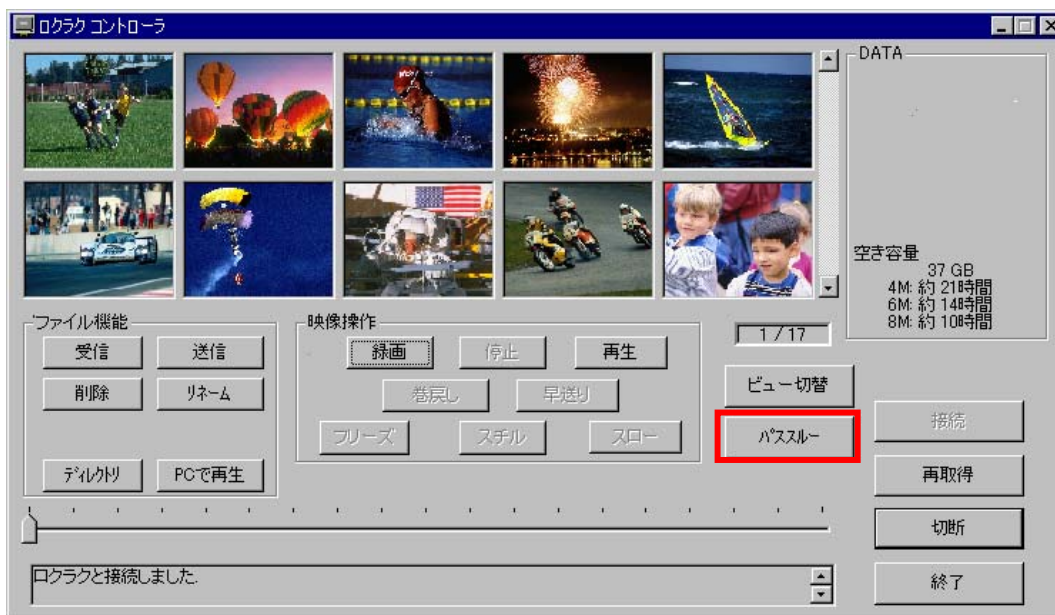


図 2 8 : メイン画面

- (2) [入力ポート] を選びます。
見たい映像の入力端子を S 端子/ビデオから選んで下さい。^{†・2}

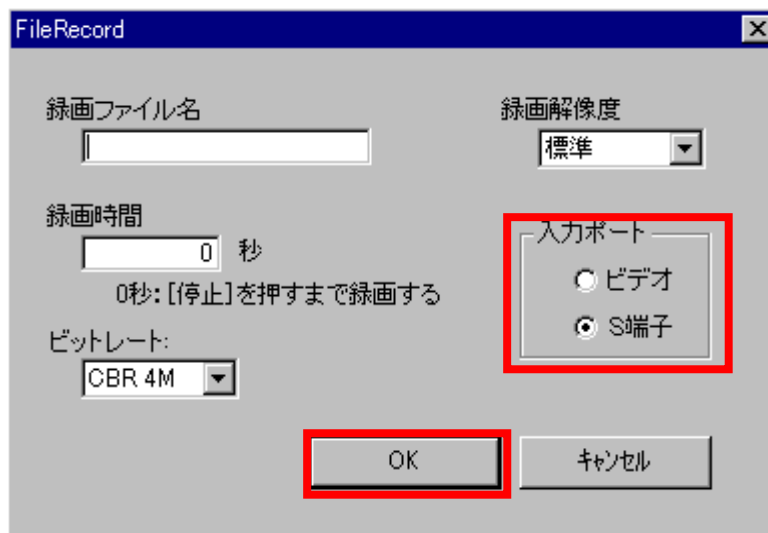


図 2 9 : FileRecord ダイアログ

(3) 【OK】 ボタンをクリックします。

(4) 「ロクラク」のビデオ出力端子に接続したテレビでご覧になることができます。

- †.1 パススルー：「ロクラク」のビデオ入力端子からの映像を、ビデオ出力端子に接続したテレビで確認することができます。
- †.2 外部入力に対する映像信号の自動検出はしません。入力を間違えないようご注意ください。

PCの映像ファイルを「ロクラク」へ送る

PC上の記録映像ファイルを「ロクラク」に転送します。

「ロクラク」に転送した記録映像ファイルは、「ロクラク」で再生することができます。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしている時は実行することはできません。「ロクラク」の状態をお確かめの上、操作して下さい。

- (1)メイン画面より、【送信】ボタンをクリックします。
ファイル選択ダイアログを表示します。



図 3 0 : メイン画面

- (2)ファイル名を選択します。



図 3 1 : ファイル選択ダイアログ

送信可能ファイルは「ロクラク」記録映像ファイル(拡張子は「m2t」)であることを確認して下さい。^{†.1}

- (3) 【開く】をクリックします。
ファイル送信ダイアログを表示します。

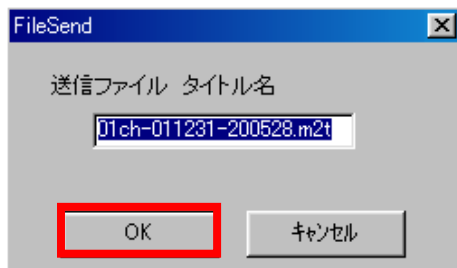


図 3 2 : ファイル送信ダイアログ

- (4) 「ロクラク」でのファイル名を入力し、【OK】ボタンをクリックします。
ファイル名の最大数は31文字です。
(a~z、A~Z、スペース、「+」、「-」、「*」、「_」、「.」、「\$」、「/」、)

- (5) 選択した PC 上の記録映像ファイルを「ロクラク」に送り始めます。^{†.2}
PCで送信を開始すると、コメント・ボックスに「送信中...」のメッセージを表示し、スライダーが右に進みます。送信するファイルの大きさによりスライダーの進み具合がことなります。スライダーが右端まで進み、コメント・ボックスに「完了」のメッセージを表示すれば送信完了です。



図 3 3 : ファイル送信中画面



図 3 4 : ファイル送信完了

- 十.1 「ロクラク」に転送可能なファイルは、「ロクラク」記録映像ファイル(拡張子が“m2t”)に限られておりますのでご注意ください。
- 十.2 「ロクラク」に転送した記録映像ファイルは、ファイル送信ダイアログで指定したファイル名で保存されます。

「ロクラク」のファイルをPCに保存する^{†1}

「ロクラク」録画済み記録映像ファイルをPCに転送可能です。
 PCに転送した記録映像ファイルは、ストリーム変換（ロクラク・コントロールのメイン画面から【PCで再生】ボタンをクリック）することにより、PC上でご覧いただけます。但し、MPEG2ビデオファイルを再生可能なソフトウェアが必要です。
 この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしている時は実行することはできません。「ロクラク」の状態をお確かめの上、操作して下さい。

- (1) PCに送りたいファイルを選択した上、【受信】ボタンをクリックします。ファイル受信ダイアログを表示します。



図 3 5 : メイン画面

- (2) 保存場所と保存名を指定し、【保存】ボタンをクリックします。

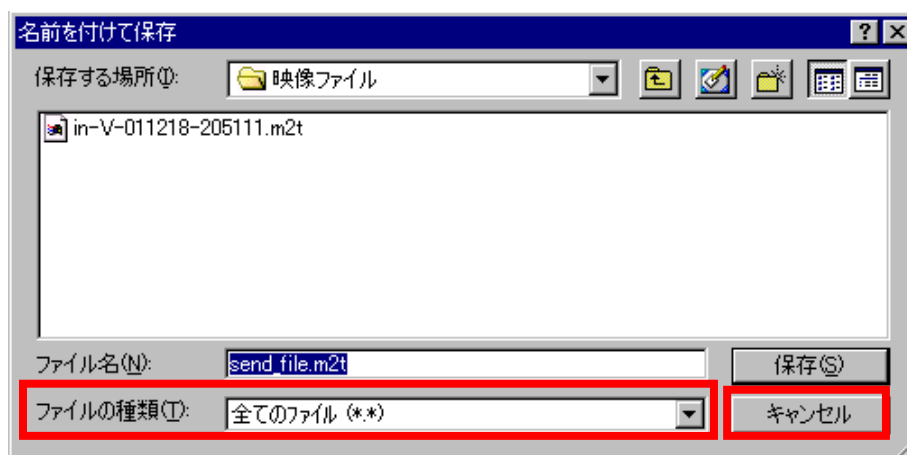


図 3 6 : ファイル受信ダイアログ

(3) 選択した「ロクラク」の記録映像ファイルをPCに送り始めます。

PCで受信を開始すると、コメント・ボックスに”受信中...”のメッセージを表示し、スライダーが右に進みます。受信するファイルの大きさによりスライダーの進み具合がことなります。スライダーが右端まで進み、コメント・ボックスに”完了”のメッセージを表示すれば受信完了です。



図 3 7 : ファイル受信画面



図 3 8 : ファイル受信完了画面

†. 1 ロクラクからPCへのファイル転送形式は「ロクラク」用ストリームデータ形式（拡張子がm2t）です。

「ロクラク」のファイルを削除する

「ロクラク」上の任意の記録映像ファイルを、削除します。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしている時は実行することはできません。「ロクラク」の状態をお確かめの上、操作して下さい。

- (1) 削除したいファイルをクリックして選択します。
- (2) メイン画面より、【削除】ボタンをクリックします。
- (3) 「 を本当に削除してもいいですか？」のダイアログを表示します。
- (4) 削除するなら【OK】をクリックします。
削除するのをやめたい場合には、【キャンセル】ボタンをクリックします。

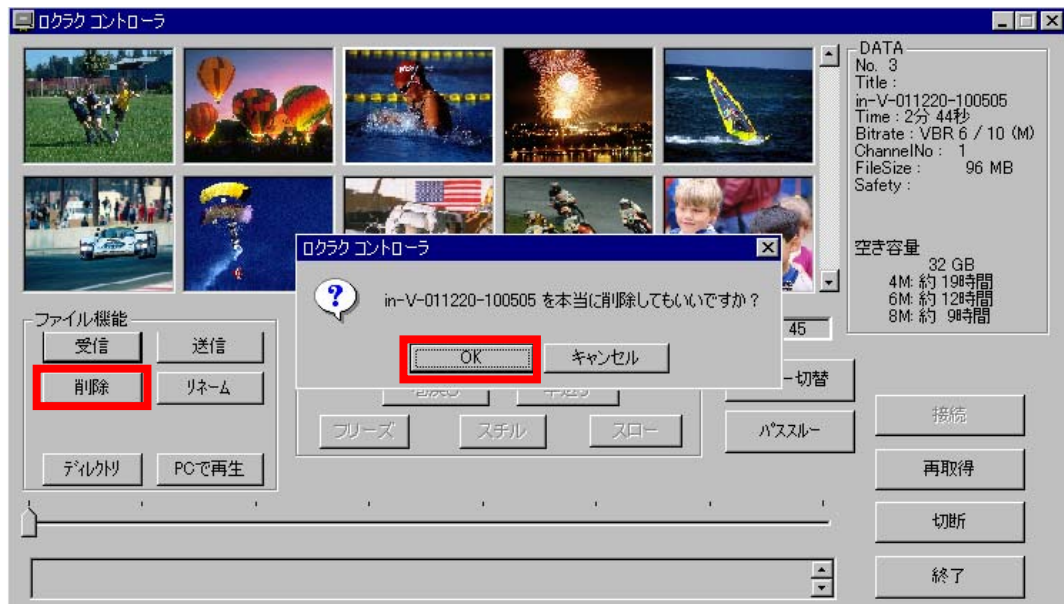


図 39 : ファイル削除画面

- (5) コメント・ボックスに”削除中...”のメッセージが表示されます。その後、”完了”のメッセージを表示すれば削除完了です。



図 40 : ファイル削除完了

「ロクラク」のファイル名を変える

「ロクラク」上の任意の記録映像ファイルのファイル名称を変更します。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしている時は実行することはできません。「ロクラク」の状態をお確かめの上、操作して下さい。

(1) あらかじめファイルを選択してメイン画面より、【リネーム】ボタンをクリックします。†.1

File operation ダイアログを表示します。



図 4 1 : メイン画面

(2) 変更したいファイル名を入力します。†.2

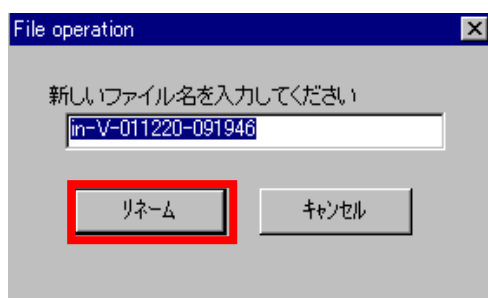


図 4 2 : File operation ダイアログ

(3) ダイアログの【リネーム】ボタンをクリックする事で、変更されます。

- †.1 選択ファイルは[サムネイルタイプ]では、サムネイルの周りに枠が付きます。
[リストタイプ]では、選択ファイルが反転表示します。
- †.2 ファイル名に与えることができる長さは最大31文字です。
(a~z、A~Z、スペース、0~9、"+", "-", "*", "_", ".", "\$", "/、)

ディレクトリの設定をする

「ロクラク」記録映像ファイルをPCのどのフォルダに格納するか設定します。又、MPEG2ビデオ再生ソフトウェアの実行ファイルがどのフォルダにあるか設定します。以上の設定をすることにより『ロクラクから受信したファイルをPCで再生させる』に示す機能が使用できます。

- (1)メイン画面より、【ディレクトリ】ボタンをクリックします。
ディレクトリ設定ダイアログを表示します。



図 4 3 : メイン画面

- (2) [元ファイル(*.m2t)ディレクトリ]には、PCで再生する場合の「ロクラク」記録映像ファイル(拡張子が“m2t”)の格納ディレクトリを指定して下さい。
(『「ロクラク」のファイルをPCに保存する』で「ロクラク」から受信したファイルの格納場所を指定して下さい。)†・1
- (3) [プレーヤ実行ファイル]には、MPEG2ビデオ再生ソフトウェアの実行ファイル(*.exe)を指定して下さい。†・2・3

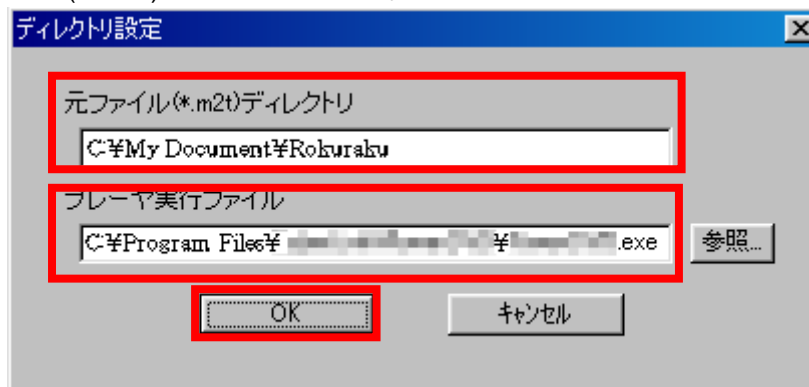


図 4 4 : ディレクトリ設定ダイアログ

- (4) 【OK】 ボタンをクリックします。
ディレクトリの設定が完了します。

- †.1 『ロクラクから受信したファイルをPCで再生させる』を実行時に、まずここで指定したディレクトリを参照します。

例：Cドライブの My Documents に Rokuraku というディレクトリがあり、その中にファイルを格納したい場合

C : ¥My Documents¥Rokuraku

- †.2 『ロクラクから受信したファイルをPCで再生させる』を実行するには、MPEG2ビデオを再生するためのアプリケーションソフトを、PCで実行できる必要があります。

MPEG2ビデオ再生アプリケーションについては、お客様にてあらかじめPCにインストールしておいて下さい。

- †.3 MPEG2ビデオ再生アプリケーションの実行ファイルのあるディレクトリがわからない場合には、MPEG2ビデオ再生アプリケーションのインストール手順書、取扱説明書等にてご確認下さい。

「ロクラク」から受信したファイルをPCで再生する

「ロクラク」からPCに転送した記録映像ファイルを、ストリーム変換し、再生します。この機能を使用するにあたって、『ディレクトリの設定をする』にて、ディレクトリを設定しておく必要があります。

この操作は、「ロクラク」側で再生、録画、裏録画、メニュー表示をしている時は実行することはできません。「ロクラク」の状態をお確かめの上、操作して下さい。

- (1)メイン画面より、【PCで再生】ボタンをクリックします。†.1
ファイル選択ダイアログを表示します。

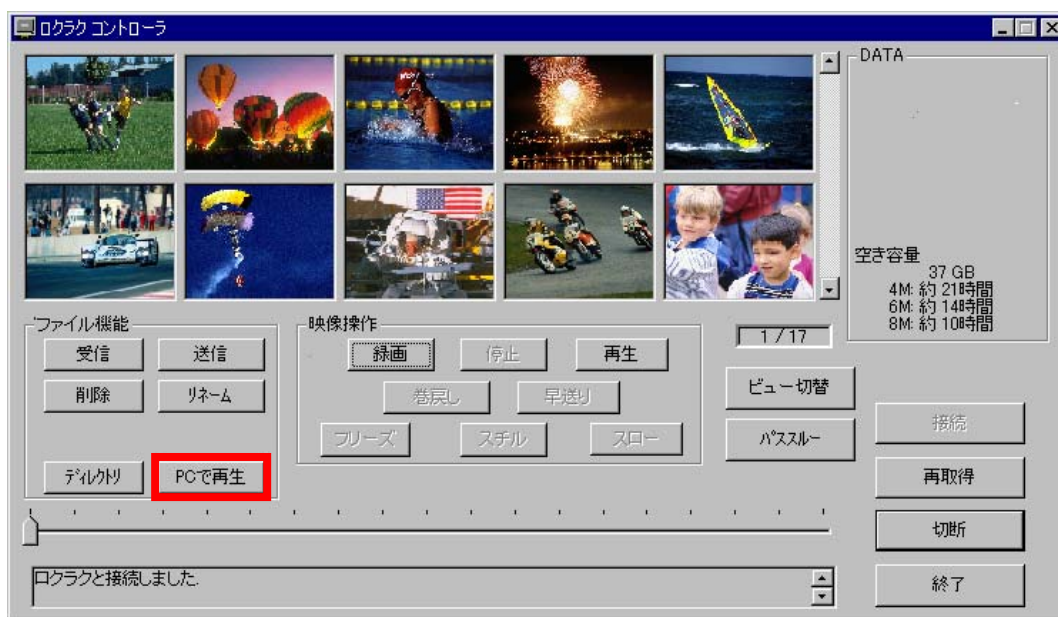


図 4 5 : メイン画面

- (2)再生したいファイルを選択し、【開く】ボタンをクリックします。†.2

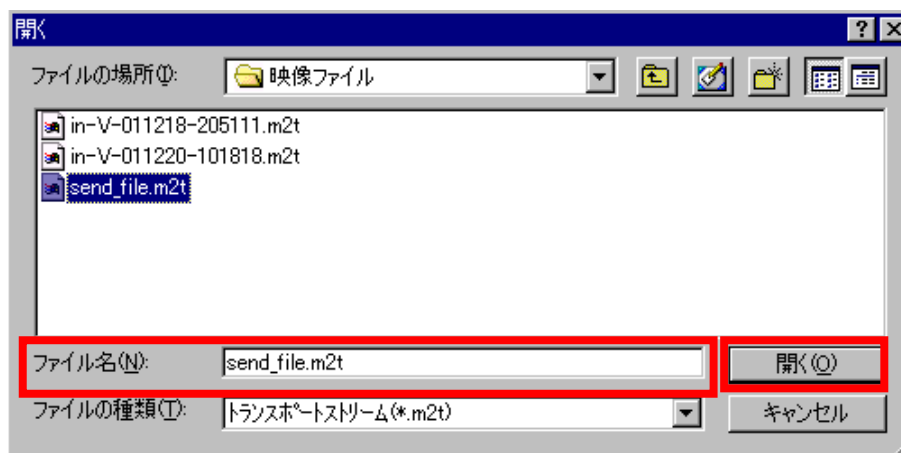


図 4 6 : ファイル選択ダイアログ

(3)「ロクラク」記録映像ファイルをストリーム変換してPCで再生します。^{†.345}

- †.1 【PCで再生】ボタンは、『「ロクラク」とPCを接続する』を実行しなければクリックできません。
- †.2 既に、ファイルが存在する場合、“上書きしてもいいですか？”のメッセージが表示されます。【はい】ボタンをクリックすると、ストリーム変換済みファイルを上書きで作成します。
- †.3 「ロクラク」記録映像ファイル：TS形式（拡張子：“m2t”）
MPEG2ビデオ再生ソフトウェア用ファイル：PS形式（拡張子：“mpg”）
- †.4 再生するファイルの大きさにより、ファイル変換にかかる時間が違います。
- †.5 この機能を実行すると、MPEG2再生ファイルを作成しますので、次回PCからファイルの再生をしたい場合には、MPEG2ビデオ再生アプリケーションから、直接作成されたMPEG2再生ファイルを指定して、再生させることができます。（作成したMPEG2再生ファイルは『ディレクトリを設定をする』の[元ファイル(*.m2t)ディレクトリ]にて指定したディレクトリにあります。）

